

様式第1号 (第2条関係)

# 【記入例】

裏面の記入上の注意を必ず読んでから記入して下さい。

※印のところは、どれかに○をつけて下さい。

×印の欄は、何も記入しないで下さい。

学校長印を在学校にて

押印してもらって下さい。

一般貸与

奨学生願書							学校長 検印		
氏名 <b>釜石 一郎</b>			※ <input checked="" type="radio"/> 男・女		貸与希望期間				
フリガナ <b>カマイン イチロウ</b>			平成 <u>▲</u> 年 <u>▲</u> 月 <u>▲</u> 日生 満 <u>■</u> 歳		令和 <u>7</u> 年 4 月から 令和 <u>11</u> 年 3 月までの <u>4</u> 年				
本籍 <b>釜石市只越町3丁目9番</b>			現住所 ※ <input checked="" type="radio"/> 借家・社宅住宅・アパート・その他 <b>釜石市只越町3丁目9番13号 0193 (22) 2111</b>						
進学予定の学校名 <u>私</u> 立 <u>釜石大学</u> ※学校・大学・専門学校 <u>法</u> 学部 <u>法</u> 学科 正規就学年 ( <u>4</u> 年間)				申請時の在学学校 ※中学校 <input checked="" type="radio"/> 高校 大学等・予備校 <u>岩手県</u> 立 <u>釜石◆◆高等</u> 学校 第 <u>3</u> 学年 令和 <u>4</u> 年入学・令和 <u>7</u> 年 <u>3</u> 月卒業予定					
家族および収入	就学者を除く家族	続柄	氏名	年令	職業・勤務先 (詳しく)	所得の種類	収入年額 (税込) 円		
		父	<b>釜石 太郎</b> ○	<b>48</b>	<b>〇〇株式会社 ●●課</b>	<b>給与</b>	<b>5,000,000</b>		
		母	<b>釜石 花子</b>	<b>47</b>	<b>△△有限公司 ▲▲課パート</b>	<b>給与</b>	<b>1,000,000</b>		
		祖母	<b>釜石 市子</b>	<b>78</b>	<b>無職 年金受給者</b>	<b>厚生年金</b>	<b>700,000</b>		
		家計支持者であるので ○印				源泉徴収票に記載されている 給与の収入金額を記入して下さい。			
父・母が死亡の場合は、氏名欄に死亡年月日を記入、離別の場合は氏名欄に―を記入すること。									
別居者に×印	就学者	続柄	氏名	年令	学校名	学年	通学別	奨学生	
		本人	<b>釜石 一郎</b>	<b>18</b>	<b>岩手県立釜石〇〇高等学校</b>	<b>3</b>	<input checked="" type="radio"/> 自宅・自宅外	既採用者に○印	
		兄	<b>釜石 三郎</b> ×	<b>20</b>	<b>国立★★★大学☆☆学部</b>	<b>2</b>	<input checked="" type="radio"/> 自宅・ <input checked="" type="radio"/> 自宅外		
		妹	<b>釜石 七美</b>	<b>11</b>	<b>釜石市立□□□小学校</b>	<b>5</b>	<input checked="" type="radio"/> 自宅・自宅外		
			別居者であるので×印						<input checked="" type="radio"/> 自宅・自宅外
									<input checked="" type="radio"/> 自宅・自宅外
						<input checked="" type="radio"/> 自宅・自宅外			
経営内容	事業 (商・工・林・水産業)				農業 [1反=約10アール (a)]				
	事業の種類 ※ 卸売・小売・サービス・製造 建設・林・魚・水産・その他				耕作面積 (田 a) (畑 a) (果樹園 a)				
× 整理番号	事業の形態 ※ 同族会社・自営				主作物 ( )				
	従事者数 (家族 人) (使用人 人)				酪農等 ※ 牛・馬・豚・鶏・養蚕・その他 従事者数 (家族 人) (使用人 人)				
× 整理番号		立 学校 学部 学科			× 決定番号				
↑		進学校 全日制・定時制 第 学年							
		その他特記事項 ( )							

ここは記入しないで下さい。

家族事情記入欄

<p>ア 家族の状況（特に家族が同居していない等）</p> <p>《例》 兄三郎が東京の大学に在学しているため現在も二重生活である。令和7年4月からは私本人も仙台の大学に進学するためさらに三重生活になるため家計が苦しい。 ←などの具体的家族の状況を記入して下さい。</p>
<p>イ 生活の状況、その他特記事項（特に家庭の収支状態、学資について等）</p> <p>《例》 父母共稼ぎではあるが、母親は祖母が病気がちで休職に追い込まれるため一定の収入は父親だけである。この4月からはさらに三重生活となり、ますます家計が逼迫する。妹も高校・大学と進学を希望していることから この育英資金制度を利用して勉学に励みたい。 ←などの生活状況の具体的状況を記入して下さい。</p>
<p>以上のおり記載に相違ありません。 貴会の奨学生として御採用のうえ、奨学金の貸与を受けたくお願いいたします。</p> <p>令和 ◆◆年 ◆◆月 ◆◆日(申請する日を記入)</p> <p>釜石市育英会会長 殿</p> <p>本人氏名 <u>釜石 一郎</u> ⑩</p> <p>奨学生に御採用のうえは、本人に奨学金を御交付下さるようお願いいたします。 なお、本人に対しては、奨学生としての責任をはたすことはもとより、奨学金の返還その他の義務についても、規定にしたがい、私も連帯の責任を負うことを誓約いたします。</p> <p>連帯保証人氏名 <u>釜石 太郎</u> ⑩</p> <p>続柄 本人の( <u>父</u> ) 昭和 ◆◆年 ◆◆月 ◆◆日生</p> <p>住所 <u>釜石市只越町3-9-13</u></p>

願書記入上の注意

- 願書は、選考上の大切な書類です。事実をありのままに事情がよく分かるように詳しく書いて下さい。事実と違ったことを書いたり、記入すべきことが書いていなかったりすると、せっかく採用されても、その採用を取り消されますから注意して下さい。
- 氏名、本籍は必ず戸籍謄本の正しいものを書いて下さい。
- 家族および収入欄には、家族全員を書いて下さい。一緒に住んでいない家族には氏名欄の隣の空欄に×印を付けて下さい。
- 職業・勤務先の欄は、〇〇株式会社〇〇課というように詳しく書いて下さい。
- 収入年額は、過去1年間の出来るだけ正確な金額を税込で書いて下さい。  
なお収入については、所得を証明する書類（所得証明書もしくは源泉徴収票）を必ず添付して下さい。
- 家族の状況は、祖父母、父母、兄弟姉妹等で別居しているとか、特記すべき事情がある場合、その事情を書いて下さい。
- 生活の状況は、家の生活が苦しくて進学出来そうにもない事情とか、収入がほとんど無い場合に生活費をどうしているのかなどについてわかるように書いて下さい。
- 連帯保証人は必ず父または母とし父母がいない場合のみ祖父母または20歳以上の兄姉にして下さい。  
以上の家族がないときは、これに代わるべき人にしても差し支えありません。連帯保証人の印鑑は、本人の印鑑と同じものではないけません。